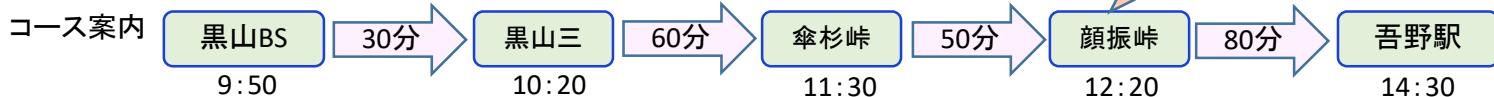


豊山会山行

実施日 : 2026年 12月 10日(木)
 場所 : 黒山三滝 (標高は傘杉峠近辺で622m)
 距離・時間 : 約8km 約4.0時間(休憩は別)
 標高差 : 約450m
 集合場所 : 越生駅西口 バス乗場

川越観光自動車BUS料金 ¥410
 出発時間:9:22 10:18 1:52

	到着	出発	路線
練馬駅	—	7:22	西武池袋線
池袋駅	7:35	7:45	東武東上線
坂戸駅	8:30	8:33	東武越生線
越生駅	8:55	9:22	川越観光
黒山BS	9:46	—	



黒山三滝とは、越辺川支流の三滝川に落ちる上下2段の男滝(おだき)と女滝(めだき)、少し離れた所にある天狗滝の3つの滝の総称です。

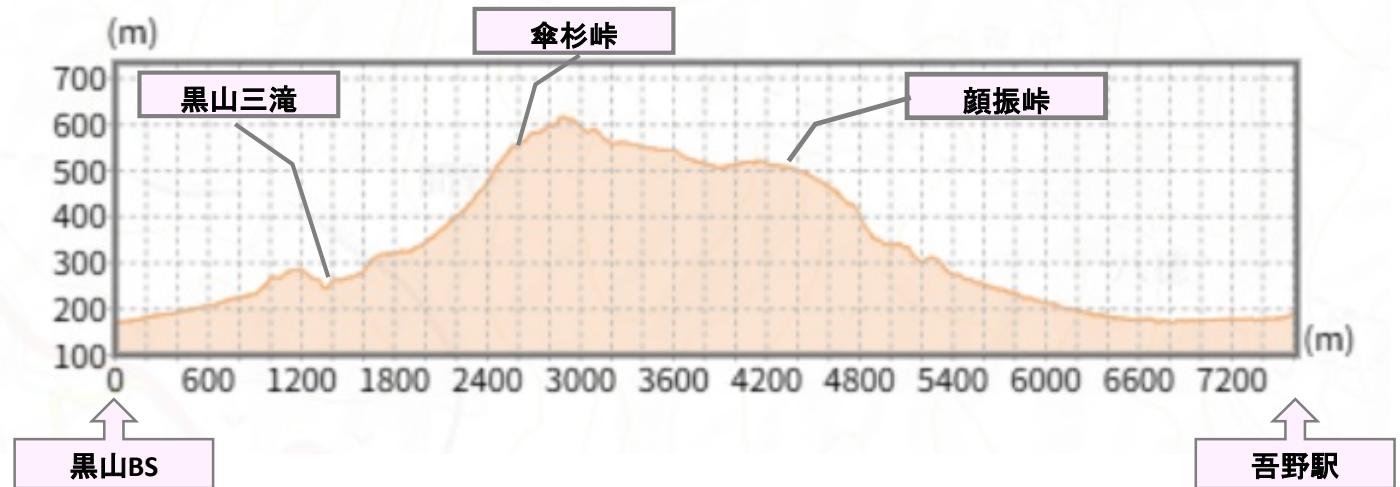
この黒山三滝は、室町時代に山岳宗教修験道の拠点として開かれ、広く信仰を集めました。幕末に尾張屋三平によって江戸に紹介されたほどの景勝地で、明治時代には多くの観光客が訪れる観光地として知られるようになりました。

顔振峠(かあぶりとうげ)は、奥武蔵の東部、埼玉県飯能市と越生町にある峠である。標高530m[1]。峠には三軒の茶屋があり、奥武蔵グリーンラインや関東ふれあいの道の休憩場所として賑わう。峠から東に徒歩10分ほどのところに展望台があり、晴れた日にはさいたま副都心の高層ビルなどが見渡せる。

峠にある案内板によると、平安時代、源義経が京落ちで奥州へ逃れる際、あまりの絶景に何度も振り返ったため、また、その際のお供の武蔵坊弁慶があまりの急坂に顔を振りながら登った等が名前の由来になったと説明されている。



(画像:国土地理院)



(画像:国土地理院)



黒山三滝

(画像:豊山会)



天狗滝

(画像:豊山会)



傘杉峠

(画像:豊山会)



顔振峠

(画像:豊山会)